岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　その他河川　檜垣川　通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	No.1	調査位置	広島県呉市清水	北緯	34° 14' 10.4353"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和5年12月 4日～ 令和5年12月 5日	東経	132° 34' 36.4942"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 144.00m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：シブヤ TSA-165 / エンジン：ホンダ EU26ij / ポンプ：丸山 MS157

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	142.20	1.80		礫混り砂	褐							0[0](100)	φ5～10mm位の亜角～亜円礫が3割位混じる。 マトリックスはマサ土。 GL-0.8～0.85m付近、φ50mm位の円礫が混じる。	12/5 2.50
2				花崗岩	褐灰～明灰	w3	h1	C	Ⅲ	c	D	14[24](100)	GL-1.8～2.8m付近、コアはやや軟質で亀裂部が砂礫状となる。	
3						w3		B	Ⅲ	b	CL	17[62](100)	GL-2.8～4.3m付近、やや硬質となり、短柱状コアが主体となる。 dip20° 位の亀裂が多い。	
4						w2		A	Ⅱ	a	CM	27[27](100)	GL-4.3～4.7m付近、硬質となり棒状コア主体。	
5	139.00	5.00				w3		B	Ⅲ	b	CL		GL-4.7m以深、コアはやや軟質となり、短柱状コア主体となる。	
6														
7														
8														
9														
10														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8	1.15	8		
	1.45	300		
50以上	2.00	50	70	
	2.07	70		
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
12/4	100	66	D/MC	0	700	1	W3/5	5
	100							
	100		D/DI	0	1000	1	W3/3	3
	100							
12/5	100							